

全体的な計画

		おおむね6か月未満	おおむね6か月から1歳3か月未満	おおむね1歳3か月から2歳未満	おおむね2歳
発達 過程		<ul style="list-style-type: none"> 首がすわり、手足の動きが活発になり、寝返り腹ばいなど全身の運動が活発になる。 視覚聴覚などの発達はめざましく、泣く、笑うなどの表情の変化や体の動き喃語など自分の欲求を表現し、これに応答的に関わる特定の大人との間に情緒的な絆が形成される。 	<ul style="list-style-type: none"> 座る、はう、つたい歩きといった運動機能が発達すると、腕や手先を意図的に動かせるようになることにより、周囲の人や物に興味を示し、探索活動が活発になる。 特定の大人の人の応答的関わりにより、情緒的な絆が深まり、あやしてもらふ事を喜ぶなどやり取りが盛んになり一方で、人見知りをするようになる。 食事は、離乳食から幼児食へ徐々に移行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩き始め手を使い、言葉を話すようになり、身近な物に自発的に働きかけていく。 歩く、押す、つまむ、めくるなどの様々な運動機能の発達や新しい行動の獲得により、環境に働きかける意欲を一層高める。そんな中で、物をやり取りしたり、取り合ったりする姿が見られる。 大人の言うことが、分かるようになり、自分の意志を親しい人に伝えるという欲求が高まる。 指差し、身振り、片言などを盛んに使うようになり二語文を話し始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩く、走る、跳ぶなど基本的な運動機能や、指先の機能が発達する。それに伴い、食事、衣服の着脱などの身の回りことを自分でしようとする。 排泄の自立のための身体的機能も整ってくる。 語彙も著しく増加し、自分の意思や欲求を言葉で表出する。 行動範囲が広がり探索活動が盛んになる中、自我の育ちの表れとして、強く自己主張する姿が見られる 大人と一緒に簡単なごっこ遊びを楽しむようになる
	養	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子供の生活リズムを重視し生理的欲求が十分に満たされるようにする。 一人ひとりの子供の健康増進を、積極的に図る。 一人ひとりの子供の健康状態を把握し異常のある場合は適切に対応する。 			
護	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子供の状態に応じてスキンシップを十分にとりながら心身共に快適な状態をつくり、情緒の安定を図る。 一人ひとりの子供の心身の疲れが癒されるようにする。 保育士の愛情豊かな受容により気持ちよい生活ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子供の甘えなどの依存欲求を満たし情緒の安定を図る。 		
	ね	<ul style="list-style-type: none"> 個人差に応じて授乳を行い、離乳を進め健やかな発達を促す。 安全で活動しやすい環境の下で寝返りや腹ばいなど運動的な活動を促す。 笑ったり、泣いたりする子供の状態に優しく応え発声に回答しながら喃語を育む。 安心できる人的、物的環境のもとで、聞く、見る、触れるなど感覚の働きが豊かになるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳を進め、様々な食品に慣れさせながら幼児食への移行を図る。 姿勢を変えたり、移動したり様々な身体活動を十分に行えるように安全で活動しやすい環境を整える。 優しく語りかけたり、発声や喃語に回答したりして、発語の意欲を育てる。 聞く見る、触れるなどの経験を通して感覚や手や指の機能を動かそうとする。 身の回りものに対する興味や好奇心が芽生える。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育士との関係の下で食事、排泄などの活動を通して、自分でしようとする気持ちが芽生える。 身の回りの大人や子供に関心を持ち関わろうとする 身の回りの様々なものをいじって遊び、外界に対する好奇心や関心を持つ。 保育士の話しかけや発語が促されたりすることにより、言葉を使うことを楽しむ。 身近な音楽に親しみ、それに合わせて体を動かして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄、などの簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 保育士と一緒に全身や手や指を使う遊びを楽しむ。 身の回りに様々な人がいる事を知り、友達と遊ぶ楽しさを味わう。 身近な小動物や植物を見たり触れたりして興味や関心を広げる。 保育士を仲立ちとして、生活や遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ。 保育士と一緒に人や動物の模倣をして楽しむ。
育	5領域	<ul style="list-style-type: none"> 授乳は、抱いて微笑みかけたり優しく言葉をかけたりしながら、ゆったりとした気持ちで行う。 立位で抱かれたり、屈伸腹ばいなど体位を変えてもらって遊びを楽しむ。 子供に優しく語りかけたり、歌いかけたり泣く声や喃語に答えながら保育士との関わりを楽しむものにする。 優しく言葉をかけてもらいながら、聞いたり見たり、触れたりできる玩具などで楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で、喜んで食事ができるよう離乳を進めながら、幼児食に移行させる。 寝返り、はいはい、お座り、つたい歩き、立つ、歩くなどそれぞれの状態に合った活動を十分行う。 喃語や片事を優しく受け入れてもらい、発語や保育士とのやりとりを楽しむ。 生活や遊びの中での保育士のすることに興味を持ったり、模倣したりすることを楽しむ。 保育士に身守られて、玩具や身の回りのもので一人遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で、食事やおやつが食べられるようにする。 保育士に身守られ、外遊びや一人遊びを十分楽しむ 好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。 保育士の話しかけを喜んだり、自分から片言でしゃべれることを楽しむ。 保育士と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、体を動かしたりして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の手助けをうけて、食事、排泄、手洗い、衣服の着脱などをする。 保育士の仲立ちによって、共同の遊具などで遊ぶ。 身近な小動物、植物、事物などに触れ、興味好奇心を持ち、模倣して遊ぶ。 保育士と一緒に簡単なごっこ遊びをする中で言葉のやりとりを楽しむ。 保育士と一緒に、水、砂、泥、紙などの素材に触れて楽しむ。

全体的な計画

		おおむね3歳	おおむね4歳	おおむね5歳	おおむね6歳
発達過程		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な運動機能が伸び、食事、排泄、着脱などもほぼ自立できるようになる。 話し言葉の基礎ができて、盛んに質問するなど知的興味や関心が高まる。 自我がはっきりし、友達との関わりが多くなるが平行遊びである。 大人の行動や日常生活において経験したことをごっこ遊びに取り入れたり、象徴機能や観察力を発揮して、遊びの内容に発展性がみられるようになる。 予想や意図、期待を持って行動できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全身のバランスをとる能力が発達し、体の動きが巧みになる。 仲間とつながりが強くなる中でけんかも増えてくる。一方で、決まりを守ろうとする。 自然など身近な環境に積極的に関わり、様々な特性を知り、それらの関わり方や遊び方を体得していく。 想像力が豊かになり、目的も持って行動し、つくったり、かいたり、試したりする。 感情が豊かになり、身近な人の気持ちを察し、少しずつ我慢ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が身に付き、運動遊びなどを仲間と楽しむ。 言葉により共通のイメージを持って遊んだり、目的に向かって集団で行動することが増える。また、遊びを発展させ、楽しむために、自分達で決まりを作ったりする。 相手を許したり、認めたりといった社会生活に必要な基本的な力を身に付ける。 他人の役に立つことを嬉しく感じたりして、仲間の中の一人としての自覚が生まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全身運動が滑らかになり、快活に跳び回るようになる。 仲間の意思を大切にし、役割分担を伴う協同遊びやごっこ遊びを満足するまで取り組む。 様々な知識や経験を生かし、創意工夫を重ね、遊びを展開させる。 思考力や認識力も高まり、自然事象や社会事象、文字などへの興味や関心も深まっていく。 身近な大人に甘え、気持ちを休めることもあるが、様々な経験を通して自立心が一層高まっていく。
養護	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> 保健的で安全な環境をつくり快適に生活できるようにする。 一人ひとりの子供の健康増進を、積極的に図る。 一人ひとりの子供の平常の健康状態をよく観察し、異常を早く発見し、適切な対応をする。 	<hr/> <ul style="list-style-type: none"> 子供が自ら体の異常を訴えることができるようにする。 	<hr/>	<hr/>
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子供が安定感を持って過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 一人ひとりの子供の心身の疲れが癒されるようにする。 一人ひとりの子供の気持ちを温かく受容し、優しく応答し、共感しながら子供との継続的な信頼関係を築いていく。 	<hr/> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子供が、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 信頼関係の中で自分の気持ちや考えを安心して表し、情緒の安定した生活ができるようにする。 	<hr/> <ul style="list-style-type: none"> 保育士との信頼関係を基盤に、一人ひとりの子供が主体的に活動し、自発性や探索意欲を高め自信が持てるようにしていく。 	<hr/>
教育	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 食事、排泄、睡眠、衣服の着脱などの基本的な生活習慣が身につくようにする。 園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 身近な動物や自然事象に親しみ、自然に触れ十分に遊ぶことを楽しむ。 生活に必要な言葉がある程度わかり、したいこと、してほしいことを言葉で表す。 感じたことや、思ったことを描いたり、歌ったり、体を動かしたりして、自由に表現して楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な遊具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。 身近な動植物に親しみ、それに関心や愛情を持つ。 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 感じたことや思ったこと、想像したこと様々な方法で自由に表現して楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける 社会生活における望ましい習慣や態度を身につける 身近な事象に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりして、それを生活に取り入れるようにする。 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 	<hr/> <ul style="list-style-type: none"> 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。 <hr/>
	5領域内容	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の手助けを受けながら、生活に必要な基本的な事を自分でする。 保育士に様々な欲求を受け止めてもらい、親しみを持ち安心して生活をする。 身近な事象に関心を持ち、触れたり、集めたり、並べたりして遊ぶ。 あいさつや返事など生活や遊びに必要な言葉を使う。 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。 友達の良さに気付き、一緒に遊ぶことの楽しさを味わう。 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味を持つ。 保育士や友達と一緒にごっこ遊びなどをする中で言葉のやり取りを楽しむ。 身近な生活経験をごっこ遊びに取り入れて遊ぶ楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 園における生活の仕方を知り、自分達で生活を整えながら見通しを持って行動する。 人に迷惑をかけないように、人の立場を考えて行動する。 身近な環境に自分から関わり、発見したり考えたりして、それを生活に取り入れようとする。 保育士や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり話したりする。 生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気づいたり感じたりして楽しむ。 	<hr/> <ul style="list-style-type: none"> 自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。 異年齢の友達や様々な友達と関わり、思いやりや楽しみを持つ。 身近な事象に触れる中で、物の性質や数、量、文字などに対する感覚を豊かにする。 日常生活の中で文字などで伝える楽しさを味わう。 <hr/>